

迎



大安寺護寺会だより

平成二十一年一月一日発行第一号

発行責任者

大安寺護寺会理事長 北村 耕一

平成十八年九月十日  
施主 押見郁子  
押見直哉





# 『新春のご挨拶』



大安寺護寺会会長  
大安寺住職

押見 俊哉

二〇〇九年（平成二十一年）己丑年頭新春を迎え、謹んで大安寺檀信徒の皆様のご清福と万福多幸をご祈念申し上げます。

檀信徒の皆様には、日頃より菩提寺であります大安寺の護寺の為に、ご理解とご協力を頂いておりますことに、改めて感謝申し上げます。

昨年は年明けの早々に、前大本山永平寺管首宮崎奕保禅師様が壹百八歳をへ以って御遷化されて、福山諦法禅師様が第七九代永平寺管首に御就任されるという大きなニュースから始まりました。

そして、永平寺三世徹通禅師様の七百回御遠忌が、永平寺と金沢の大乗寺において勤められました。

この大法要を行うことを通じて、私共その教えを被る者として出家者も在家檀信徒も、道元禅師様より仏法の大事を三世徹通禅師様が受け継がれたことをお讃えすると同時に、徹通禅師様がお説きになられた三心（喜心・老心・大心）教えを、これからも学びつつ日

々の生活の中で実行して行かなくてはならないと感ずるものであります。

昨年は護寺会事業として老朽化しておりました境内の金網塀が一新されて、立派なブロック塀が完成いたしました。

お蔭様で、ここ一・二年の間に伽藍内外の改修が進み、外観が整って参りました。

さて、今年度からは、当護寺会の活動と共に、お寺自体の教化活動をより推し進めたいと考えております。

お寺は先祖供養の場であると同時に、もう一つ大切な場としての役割があります。

それは自己研鑽・修行道場としての場であります。

これまでの婦人会・梅花講（御詠歌）の活動と共に新たに『坐禅会』『写経・読経会』を始めて、有志の方々と運営して行きたいと考えております。

具体的なご案内は、改めてさせていただきますのでお気軽にご参加下さい。

お寺本来の役割であります、仏様の教えを学び、それを実践する場として、これからお寺に足を向けて頂きますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

平成二十一年 迎春



## 『大安寺護寺会だより発刊一年を迎えて』



大安寺護寺会  
副理事長

林 昭史

平成二十年は原油高騰による石油関連の上昇が国民生活を脅かした一年となりました。護寺会並びに檀信徒の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。大安寺護寺会は会員皆様方のお寺に対して興隆発展に深いご理解を頂きながら年間行事・法要等で方丈様（住職）を信助しつつ護寺に努めてまいりました。『護寺会だより』もお陰様で広報委員会の努力も実りまして発刊一年を迎えることができました。

初回の『護寺会だより』で六ヶ月間の行事等が詳しく紹介され、会員の皆様に私達の菩提寺としての行事を少しでもご理解頂けたものと思います。今回は後半六ヶ月の行事が紹介されると思いますが、理事会も皆様の代表委員として担当役務を明確にして、この一年間大安寺護寺に努めてまいりましたが、まだ万全とは言えませんが多少でも軌道に乗りつつあります。ここで各委員の構成と役務をご紹介します。

一、会長 住職 会務の統理と理事会運営上の助成  
信心高揚の発展協力と促進  
二、理事 会長 会の代表・会と寺院間の相互調整・檀信徒との和合支援協力

三、副理事長 理事長の補佐  
四、理事 会計委員二名 会計補佐と護寺会経費の収支決算等の経理処  
理  
五、理事 総務委員三名 会に関する運営全般及び委員会との相互調整  
六、理事 行事委員三名 各法要・行事に関する事項 仏旗・幕等の掲揚割当表の作成  
七、理事 施設管理委員三名 寺院建物・境内の維持管理と営繕  
八、理事 備品管理委員三名 護寺会購入備品の維持管理及び台帳の整理  
九、理事 広報委員三名 護寺会だよりの発刊 会の活動を檀信徒に促進に報告

二十年五月二十三日より着工されておりました塀の工事及び排水溝の整備や境内の補強と物置の更新等も七月の完成まで施設管理委員会の立会い監督のもと完成いたしました。お陰様で見栄え悪かった塀も素晴らしく良くなり境内全体が明るく感じるような気がいたします。是非 法要・行事にお越しいただきご覧になって下さい。行事委員会は各法要・行事等には仏旗や本堂・山門の幕張り等任務を遂行しております。各委員会の要請がある時は役員一同が一丸となりその任に当たっております。今後とも皆様の代表として気付かない点が多々あるかと思えます。ご意見とご支援ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成二十一年 元旦



# 平成二十年

# 七月からのお寺の行事

朝 課  
(毎朝のおつとめ)



毎日早朝より当山開基  
山森家・永代供養・納骨  
堂・婦人会・梅花講講員  
・護寺会会員・等等、当  
寺に縁のご先祖のご供養  
をしております。

七月二十四日  
地蔵祭り



地蔵堂において地蔵祭の供養と皇軍戦没者招魂供養が行われました。

八月十六日  
孟蘭盆会



正式には孟蘭盆会と  
いい先祖の御霊を迎え  
お祀りします。  
前年七月より翌年六  
月までの新盆(初盆)  
供養と共に施食供養を  
致します。

九月七日・八日  
開山忌・万灯供養  
両祖報恩会



両祖報恩会 通常は開山忌といい、曹洞宗の開祖道元禅師様と瑩山禅師様、  
大安寺歴代住職様方のご命日に行う法要です。  
約40名の近隣のご寺院様方と共に勤める、年間で一番大きな法要です。





ご先祖様を追善供養し  
共に仏道精進を誓う法要  
です。

九月二十三日  
秋彼岸会

水子供養



お釈迦様が悟りを  
開かれた聖日です。  
初穂を献納します。

十二月八日  
釈尊成道会  
秋初穂献納



朝は本堂で坐禅。



お寺の広間でみんなとお泊り。

大安寺と

学校法人  
リズム学園

恵庭幼稚園

七月七日  
園児のお泊り会

九月八日  
園児のお寺訪問

両祖忌の法要に年長組の幼稚園児約八十名が参加しました。もみじの様な小さな手のひらを合わせて、「道元さま」「瑩山さま」を歌い、両祖様のお徳をお讃えしました。一生懸命に歌う、可愛らしい姿に涙する参詣者の方も見られました。





### 大安寺婦人会の活動

各行事のお手伝いと、毎年ご住職を講師に迎えての研修会を行っております。



婦人会忘年会



第二回 婦人会研修

### 大安寺梅花講の活動

各法要への参加のほか、講習会の実施、お通夜でのご供養などに参加しております。



## 大安寺護寺会の活動

### 会計委員の活動

受付等会計業務広く行っております。



### 広報委員の活動

護寺会だよりを発刊しております。  
ご意見・ご感想などをお寄せ下さい。



### 施設管理委員の活動

境内の塀を一新、更に駐車場の舗装補修・物置新設等多忙な活動でした。



改修後のブロック塀



改修前の金網塀



# 平成二十一年お寺からのお知らせ

## 『永代供養とは』

◎朝のおつとめの折に、ご尊家  
ご先祖様のご供養をいたします。

◎ご希望のご尊家様は、  
日牌にっばい（毎日のご供養）  
月牌がつばい（月命日のご供養）

のいずれかをお選び頂けます。

◎お造り致しましたご位牌は、  
本堂正面右位牌壇にお祀り致し  
ます。

※お問い合わせ先  
大安寺まで

（〇二二三―三四―〇九三）

写真右・日牌  
写真左・月牌



## 節分・厄払い（追儺会）

### 法要のご案内

二月三日午後六時より本堂に  
て節分の厄払いが行われます。

本厄・前後厄・合格進学祈願・  
交通安全・身体堅固・病氣平癒  
家内安全・安産祈願・商売繁盛  
等受付いたします。

本厄年齢（いずれも数え年）

男性（二十五・四十二・六十一）

女性（十九・三十三・六十一）

受付締め切り一月二十五日まで  
詳細は別紙にて



## 護寺会費自動払込について

大安寺護寺会では護寺会費納入円滑化  
を図る意味もありまして、振込み用紙で  
のご入金から、皆様方のうちよ銀行  
（郵便局）口座よりの自動払込みへの、  
移行を進めております。

移行に伴い、皆様方にお手続きの方を  
お願いさせてい頂くこととなります。

手続き方法等に関しましては 後ほど  
準備が出来次第、順次発送させて頂きま  
す。

ご迷惑をお掛けすることと思いますが  
ご理解ご協力のほど、宜しくお願い申し  
上げます。

大安寺護寺会理事長

北村 耕一

『編集委員』改め『広報委員』より

皆様のご意見・ご感想・ご質問を

お寄せください。『護寺会だより』迄

FAX (〇二二三) 三三―八〇〇五



春

